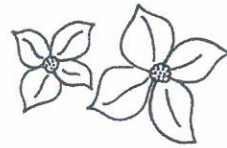




やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会

認定子ども園 いちじま子ども園

〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(☎) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>

子どもHP



<教育・保育理念>
受容・信頼・貢献感

いきよう
ちからいっぱい
ちびぶんらしく
まっすぐに

協力すること

協力するという事は、相手があり、かつ、相手の思いと自分の思いを合わせる事が
必要です。3歳児以降になり、やっと友だちと一緒に遊び始める子ども達にとって、
思いを合わせるという事は簡単にできる事ではありません。

子ども園では、小さいうちは保育者と一緒に遊びながら、そして大きくなるにつれ
て、友だちと遊んだり、ケンカしたりしながら人とかかわり方を学びます。その中
で嬉しかったり困ったりするうちに自分と相手の気持ちに気づいていくのです。そん
な風に積み重ねた経験があつて『協力する』事は実現します。同じブロックを使って友
だちと一緒にロボットを作る事、友だちと相談してやりたい遊びを決める事、一人で
は運べない大きな荷物を友だちや保育者と一緒に運ぶ事、みんなで一緒に掃除をす
る事等々。生活の中で友だちと力を合わせる経験を積み重ねる事で、『協力する』事
を子どもたちは学んでいます。その経験は今後、子ども達が社会の一員として生き
ていく上での土台となるはずです。日々の園生活の中でより良い経験を積み重ねてい
けるように保育者は努力をしています。



人と力を合わせたり、気持ちを
合わせることは、安定した人間
関係を築く土台です。



倉橋惣三の言葉

教育は人情の発露である。

人情だけでは教育できない。

研究がいる。

設備がいる。

方法がいる。

しかしこれらは

皆人情の土台の上に

築かれるものである。

これらのものが

いかに完備しても

人情の欠けた所に教育はない。

「幼稚園雑草」より

倉橋惣三(1882、1955)

「日本のフレイブル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

